

第18回つくばビジネスマッチング会

つくば発最先端技術

自動化、省エネ、省人化を実現する次世代生産システム関連技術

～データ利活用、自動・少量多品種生産、センサー、材料関連技術で持続可能な未来をつくる～

つくば研究支援センターでは、つくばの研究成果やベンチャー企業の新しい技術を大手企業へ紹介することを目的に、三井物産および産業技術総合研究所・AIST Solutionsと共催で「つくばビジネスマッチング会」を開催します。今年度は、自動化、省エネ、省人化を実現する次世代生産システム関連技術に焦点を絞り、つくばの研究機関及びつくば発ベンチャー企業から7件の最先端技術を紹介します。是非御参加下さい。

2024年3月1日(金) 13:30～16:30(開場13:15)

会場:産業技術総合研究所 臨海副都心センター別館11階(東京都江東区青海2-4-7)

定員:150名(先着順。定員になり次第締め切り)

参加費:無料

Program

13:30 開会

13:35～ 研究機関 技術発表

- 秘密計算によるデータ利活用の促進

:産業技術総合研究所 サイバーフィジカルセキュリティ研究センター 首席研究員 花岡 悟一郎 氏

13:52～ つくば発ベンチャー企業 技術発表

- 世界初!?医薬品全自動連続生産システム iFactory 完成 :株式会社 iFactory
- 音×AIで次なるイノベーションを!社会に必要とされる存在へ。 :Hmcomm 株式会社
- エアメンブレンのグラフェン製品のご紹介 :株式会社エアメンブレン
- ナノ分散技術による透明コンポジット材料の創製 :株式会社 Nano Chemix
- プラスアルファを創り出すフレキシブルセンサソリューション:株式会社センシアテクノロジー
- ひとりひとりのために半導体を開発して新時代を創る:株式会社 Hundred Semiconductors

15:35～ 展示・デモ及び面談・名刺交換会(個別ブースにて行います)

16:30 閉会

主催 株式会社つくば研究支援センター・三井物産株式会社

共催 国立研究開発法人産業技術総合研究所・株式会社 AIST Solutions

後援 茨城県・つくば市・公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構・株式会社日本政策投資銀行

協力 株式会社ひたちなかテクノセンター・公益財団法人日立地区産業支援センター

※後援・協力はすべて予定

●研究機関 技術発表

●13:35～13:50

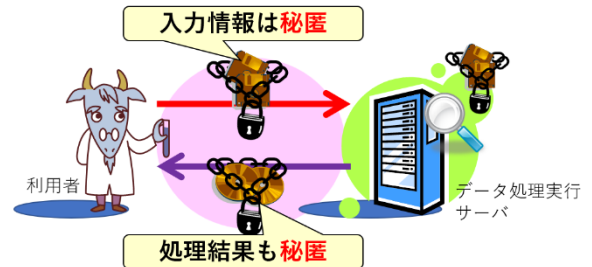
産業技術総合研究所 サイバーフィジカルセキュリティ研究センター 首席研究員 花岡 悟一郎 氏

秘密計算によるデータ利活用の促進

先端的な AI 技術を用いることで、高度なデータ分析や情報サービスの実現がなされるものと考えられています。データ漏洩の懸念から企業の持つ秘密情報への適用は必ずしも十分に進んでいません。秘密計算は、入力情報を秘匿したままデータ処理を可能にする技術であり、これにより機密データの利活用が推進されるものと期待されています。本発表では、秘密計算の仕組みや安全性について説明し、さらに、応用例について紹介します。

・秘密計算（秘匿計算）とは？

⇒ 入出力情報を隠したままデータ処理を行う技術



●つくば発ベンチャー企業 技術発表

●13:52～14:07

株式会社 iFactory 代表取締役 齊藤 隆夫 氏

世界初!? 医薬品全自動連続生産システム iFactory 完成

NEDO 事業において、再構成可能なモジュール型医薬品連続製造設備「iFactory®」は、8 時間以上の全自動連続生産実証試験に成功しました。バッチ生産に比べ 8 割以上のエネルギー削減効果が立証され、医薬品のオンデマンド生産に向けて、大きな一歩を踏み出しました。株式会社 iFactory では、「iFactory®」の商用化に向けた開発を進め、遠隔地からの完全リモートによる無人運転、製剤工程との連結といった機能追加を目指すほか、今後も社会課題の解としての在り方を追求します。

URL: <https://ifactory.tokyo/>



●14:09～14:24

Hmcomm 株式会社(エイチエムコム) R&D センター シニアセールスマネージャー 馬場 祐輔 氏

音×AI で次なるイノベーションを！社会に必要なとされる存在へ。

弊社は高度な音声解析技術と AI を組み合わせ、自動応答・テキスト化ができる“音声認識・自然言語解析処理システム”と、その柔軟なカスタマイズによって、業務効率化や品質向上の課題解決を行っています。その他 AI 異音検知で安定したモニタリングや、異常発見などを行います。今加速している AI 業界の中、特化した分野で社会の課題解決を目指し、日本の経済成長に繋がりたい。

URL: <https://hmcom.co.jp/>



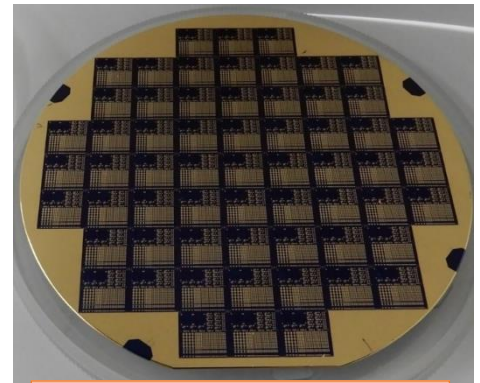
●14:26～14:41

株式会社エアメンブレン 代表取締役 古賀 義紀 氏

エアメンブレンのグラフェン製品のご紹介

当社のグラフェンはたいへん清浄度が高く、ハンドリングによる破損が極めて少ないことが特徴です。これを利用したグラフェン電界効果トランジスタ(FET)、透過電子顕微鏡用試料支持台(グラフェンTEMグリッド)、グラフェン透明導電膜などを販売しています。この他、高熱伝導率の極薄グラフィトフィルムの合成に成功し、新しい熱マネージメント材料としてご提案しています。業務提携などを通じて、新たな製品の販路開拓を目指しております。

URL: <https://www.airmembrane.co.jp>



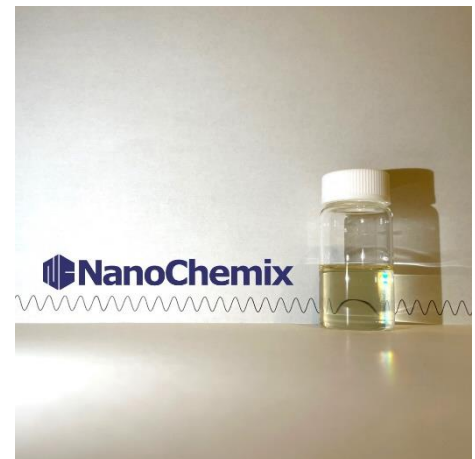
グラフェン FET(直径 100mm)

●14:43～14:58

株式会社 Nano Chemix 代表取締役 樽林 哲也 氏

ナノ分散技術による透明コンポジット材料の創製

コンポジット材料は単一材料に比べ強度・各種耐性の向上や機能性の付与ができますが、多くの場合材料間の屈折率の差から光の散乱が起き不透明な外観を呈します。弊社では独自の金属酸化物ナノ粒子単分散技術により、フィラーによる機能付与と透明性を両立する新規コンポジット材料の合成に成功しました。本発表では透明コンポジット材料の特徴と、本材料が解決し得る課題についてご紹介いたします。



●15:00～15:15

株式会社センシアテクノロジー 代表取締役 金澤 周介 氏

プラスアルファを創り出すフレキシブルセンサソリューション

株式会社センシアテクノロジーは産業技術総合研究所で開発されたフレキシブルエレクトロニクス技術の実用化を手掛けるスタートアップです。薄くしなやかな基材にセンサ内蔵回路や出力素子を形成し、身近な素材や空間の機能拡張や、従来は取得困難であった物理量の可視化を提供します。本発表では当社が保有するセンシング技術と、それを用いた事業展開についてご紹介いたします。

URL: <https://www.sensia.jp/>

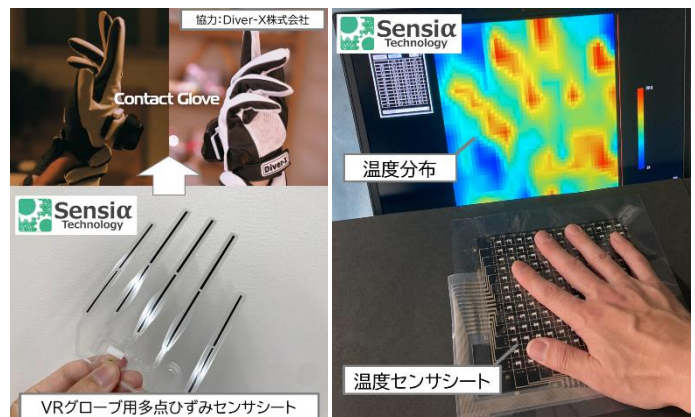


図1. VRグローブ用ひずみセンサ

図2. シート状温度センサ

●15:17～15:32

株式会社 Hundred Semiconductors 代表取締役 居村 史人 氏

ひとりひとりのために半導体を開発して新時代を創る

半導体設備投資の課題を解決するために超小型半導体製造システム、ミニマルファブがあります。ミニマルファブは、半導体電子デバイスの研究、開発、生産だけでなく、半導体人材育成においても魅力ある半導体産業における人材育成・研究・開発・生産の共通プラットフォームです。このミニマルファブを用いて半導体産業の課題である、人材育成、新規半導体材料デバイスの社会実装などに向けた課題解決を提案します。

URL: <https://i-hundred.com>



写真は、一般社団法人ミニマルファブ推進機構の許可を得て掲載しています。

■お申込みについて

下記お申込みフォームまたは QR コードよりお申し込みください。

<https://www.tsukuba-tci.co.jp/entryform/18thmatching>



※当日は、自動配信された【申込受付メール】をプリントしてご持参ください。

※定員 150 名に達し次第、締切とさせていただきます。

※会場設営の都合上、2月28日(水)までにお申し込みください。

■お問合せ先

株式会社つくば研究支援センター ベンチャー・産業支援部 早瀬・石塚・後藤

TEL:029-858-6000(代) E-Mail:matching@tsukuba-tci.co.jp